

三兄弟の個性が織りなす音楽の妙

# HEDENBORG



# TRIO

STRINGS  
FESTIVAL  
2025

ストリングス  
フェスティバル  
2025

©ヘーデンボルク・和樹

## ヘーデンボルク・トリオ

世界のウィーン・フィルで活躍する和樹・直樹の2人と、末弟の洋による

## サラマンカホール

岐阜市藪田南5-14-53

2025  
6/21  
SAT

開演 15:00  
開場 14:30

全指定席 S席 5,000円 | A席 3,000円

サラマンカメイト: S席4,500円 | A席2,700円 ※学生半額(30歳まで)

### プログラム

ベートーヴェン: ピアノ三重奏曲第7番 変ロ長調  
作品97「大公」

ブラームス: ピアノ三重奏曲第1番 ロ長調 作品8

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※車いす席は、サラマンカホールチケットセンターのみの取り扱いです。

※スマホの方はネット予約で電子チケットが購入できます。当日、入場口でスマホの電子チケットを提示してください。

主催: サラマンカホール

共催: 岐阜日埴協会 協力: サントリーホール

後援: オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム東京

サラマンカメイト先行発売: 2025年3月7日[金] / 一般発売: 2025年3月14日[金] \*先行・一般ともに発売初日は、電話・インターネット 9:00~ / 窓口 12:00~

チケットのお求め | サラマンカホール チケットセンター 9:00~21:30

058-277-1110

チケットのネット予約は公式サイト  
「サラマンカ・オンラインチケット」で



チケットぴあt.pia.jp Pコード: 286-081

イープラスeplus.jp / ファミリーマート

# ヘーデンボルク・トリオ

長男・和樹(ヴァイオリン)、次男・直樹(チェロ)、三男・洋(ピアノ)のオーストリア・ザルツブルク出身の兄弟によるピアノ・トリオ。スウェーデン人の父(ヴァイオリニスト)と日本人の母(ピアニスト)のもとに生まれ、それぞれ両親から音楽の手ほどきを受ける。長男・和樹、次男・直樹はウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の正団員として活動するほか、室内楽の演奏活動にも積極的である。幼少の頃より各々デュオでの共演を重ね、2012年にトリオとしての活動を開始。2016年秋に三兄弟の日本滞在が重なったことが契機となって話がまとまり、2017年に初来日ツアーの念願が叶った。以来、カメラータ東京の傘下でベートーヴェンのトリオ作品全集を目標にCD収録にも精を出している。2019年にはウィーン楽友協会にてのデビューも果たし、同年、2021年と日本ツアーも続けている。同じ家庭に育ち、価値観や感覚を共有していることから生まれる言葉を越えた絆は、兄弟にしか出来ない息の合った親密な演奏に繋がっている。また一方で三人三様の持ち味がバランス良く表現され、そこから生み出される豊かなハーモニーは今後さらに色彩を益すことと期待される。

## ヘーデンボルク 和樹

Wilfried Kazuki Hedenborg



Violin

© 市川勝弘

6歳よりヴァイオリンを始める。1989年、モーツァルテウム国立音楽大学でルッジェーロ・リッチに師事し、1998年に最優秀の成績で修了(芸術学修士)。同年ウィーン市立音楽大学でヴェルナー・ヒンクに師事し、2001年に首席で卒業。「オーストリア青少年音楽コンクール」1位及び「ウィーン・フィルハーモニー特別賞」(1993年、奨)、[パブロ・デ・サラサテ国際コンクール](同年、西)4位受賞(最年少)。「リッチ国際コンクール」(1995年、独)1位受賞、「タデウス・ヴロインスキー ソロヴァイオリン国際コンクール」(1997年、波蘭)1位受賞等。またヴァイオリンの弦の開発も手がけており「トマシュック・インフェルド」と契約を結び、1999年に「インフェルド・ヴァイオリン」の名称で商品化された。2001年にウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団。2004年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の正団員として活動する一方で、室内楽の演奏活動にも積極的に参加し、ソリストとしても活躍している。1998年にモーツァルテウム国立音楽大学(クリスタ・リヒター・シュタイナー勲章)及びオーストリア連邦省より叙勲された。使用楽器はM. SchwalbとD. Bague。1977年生まれ。  
WEB <http://www.hedenborg.at>

## ヘーデンボルク 直樹

Bernhard Naoki Hedenborg



Cello

© 市川勝弘

5歳よりチェロを始める。12歳でモーツァルテウム管弦楽団との共演でソロ・デビュー。13歳からモーツァルテウム国立音楽大学のハインリッヒ・シフの下で研鑽を積み、「若い音楽家のための国際チェロコンクール」(1993年、伊)優勝、「第2回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール」(1995年、仙台)銀メダル等。2003年バイエルン放送室内管弦楽団とのハイドンのチェロ協奏曲でウィーン楽友協会大ホールにデビュー。2007年にはアイゼナハ歌劇場(独)のソリスト・イン・レジデンスを務め、音楽総監督の阪哲朗と共に演奏を行った。ウィーン・トーンキムスラー管弦楽団首席チェロ奏者を経て、2011年にウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団。2014年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の正団員となる一方で、室内楽の演奏活動にも積極的である。2004年から参加しているピアノ四重奏団アンサンブル・ラロとしての活動も続けており4枚のCDをリリースしている。2006年より神戸国際芸術祭の音楽顧問を務め、ソリストとしても国内外の数々のオーケストラと共演している。1979年生まれ。  
WEB <http://bn.hedenborg.com>

## ヘーデンボルク 洋

Julian Yo Hedenborg



Piano

© 市川勝弘

5歳よりヴァイオリンとピアノを始める。6歳でモーツァルテウム国立音楽大学に最年少で合格。12歳でウィーン国立音楽大学に入学し、16歳で一旦クラシック音楽を離れる。10代後半は幅広いジャンルの音楽を学び、2011年よりハイドン音楽院のスタニスラフ・チヒョノフに師事。ドイツ、イタリア、ハンガリー、オーストリアでの数々のコンクールでは、ソロ演奏と室内楽演奏双方の部門で1位及び優秀賞を受賞。ヴァルセミア・ムジカ・ヤング国際コンクール2012プレミオ・モンテローザ・カワイ1位受賞(伊)、ストックホルム国際音楽コンクール1位受賞(2012・2014年/室内楽部門、瑞典)、マデイラ・ファンチャル国際音楽コンクール1位及びグランプリ受賞(2013年・ピアノ部門、2014・2015年/室内楽部門、葡)等。2016年にはブルガリア国立交響楽団とラフマニノフのピアノ協奏曲で共演した。2022年以降、ウィーン国立音楽大学にて更なる室内楽の学習に励む。アウトリーチ活動や近代音楽の発展にも積極的で、ヨーロッパ特有の自由さと日本的な繊細な感性を表現する若手ピアニストとして、期待されている。1990年生まれ。



## STRINGS FESTIVAL 2025

4/12 Sat シリーズ賢治Ⅲ「ゼロ弾きのゴージュ」

7/19 Sat & 7/20 Sun STROAN CONCERT I

6/21 Sat ヘーデンボルク・トリオ

11/1 Sat & 11/2 Sun STROAN CONCERT II

7/13 Sun 辻彩奈の〈8シーズンズ〉

オトナの課外授業2025【シリーズ3】

“続ウィーン・フィルのお話”

2025年6月7日(土) 14:00

OKBふれあい会館14階展望レセプションルーム

講師: 奥田佳道(音楽評論家)

### サラマンカメイトのご案内

#### 特典

- チケットの先行販売
- チケットの割引(1公演2枚まで)
- ダイレクトメールによるコンサートのご案内
- グッズコーナーでの割引

※お電話(058-277-1110 入会申込書を郵送)および、インターネットでも受付けております。

※年会費2,000円

※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターにご用意しています。

※年会費の口座振替もご利用ください。

### 交通アクセス・駐車場



### 公共交通機関

- JR岐阜駅(北口)より「岐阜バス」で約20分
- 名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分
- JR西岐阜駅(南口)より「岐阜バス」で約10分
- JR西岐阜駅(南口)より「西ぎふくるくるバス」で約12分
- JR東海道本線・名古屋駅から西岐阜駅まで約23分



### 客席のご案内

